



2015年度支援先  
（「巻組」の活動拠点・石巻市でのプロボノ活動の様子）



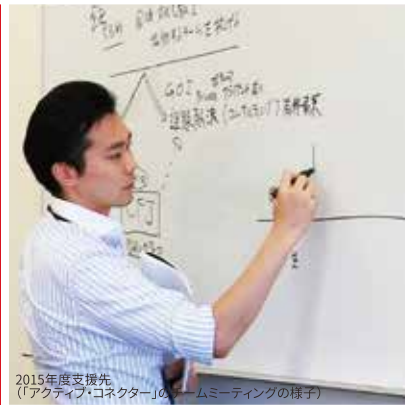
2015年度  
（プレゼン選考会後の記念撮影、入賞6団体を表彰）



2015年度支援先  
（「ふれ愛名古屋」の施設をプロボノチームが訪問）



2014年度支援先  
（「多文化共生センター大阪」・「なぶんか進学塾」の様子）



2015年度支援先  
（「アクティブ・コネクター」のチームミーティングの様子）

# Social Business Support Programme

## ソーシャルビジネス支援プログラム

シンクタンクとの協働で、  
社会課題解決のスピードUPとインパクト拡大を

「ソーシャルビジネス支援プログラム」は、社会課題の解決を目指すソーシャルビジネス事業者の皆さまを、「シンクタンクとして培ったスキルの提供」と「資金支援」によって支援する取り組みです。当社の役職員有志が「プロボノチーム」を組んで伴走者となり、共感をベースに選んだ団体と約半年間にわたり協働します。このプログラムは、「総合シンクタンクならではの社会貢献活動を」との思いから2013年に創設したもので、これまでに18の入賞団体に資金支援を行い、うち9つの団体と協働しています。社会課題の解決に取り組むソーシャルビジネス事業者の皆さま、シンクタンクとの協働で、社会課題解決のスピードUPとインパクト拡大を目指しませんか？

2016年度  
支援先募集!  
4/25(月) 正午  
〆切

## ソーシャルビジネス支援プログラム プログラム概要

● 支援対象	法人格を有し、下記分野のいずれかに該当する事業 <sup>*1</sup> を行っている団体； 1. 少子高齢社会対策 2. まちづくり・地域活性化 3. 共生社会づくり 4. 次世代教育 5. 環境保全 6. 伝統・文化継承 7. 途上国支援 8. その他、持続可能な社会の構築に資する事業 ※1 主に中間支援に取り組んでいる団体は対象となりません。
● 支援内容	人的支援（プロボノ活動） 当社役員有志の有志で組成されたプロボノチームが、本業で培ったスキルを活かして約半年間の協働を行います。 資金支援 支援賞 総額150万円（支援先1団体あたり50万円、最大3団体） 共感賞 総額100万円（プレゼンテーション選考会参加団体に分配）
● 支援期間	約6ヶ月間
● 選考方法	書類選考を実施した後、プレゼンテーション選考会を行います。 支援先団体及び賞金額は、役職員の投票（支援票 <sup>*2</sup> 、共感票 <sup>*3</sup> ）によって決定します。 ※2 支援票とは、プロボノ活動を希望する役員が、支援したいと思う団体に投票するものです。 5票以上の支援票が集まった団体（最大3団体）を支援先団体として決定し、賞金を授与するとともに、投票者によるプロボノチームを組成して人的支援を行います。 ※3 共感票とは、当社のすべての役員による投票です。書類選考を通過し、プレゼンテーション選考会に参加した全団体を対象に投票を行い、各団体の得票数に応じて支援金（共感賞）を分配します。
● 選考基準	1. 事業の革新性、将来性、実現可能性 2. 応募団体の熱意、起業家精神 3. 当社役員有志の共感

当プログラムは、特定非営利活動法人ソーシャルベンチャー・パートナーズ東京（SVP東京）をアドバイザーに迎え運営しています。

## スケジュール

- 4月25日(月) 正午  
応募×切
- 6月2日(木)  
プレゼンテーション選考会
- 6月中旬  
支援先団体決定
- 6月30日(木)  
賞金授与式／キックオフ会
- <<プロボノ活動開始>>  
約6ヵ月間
- 12月15日(木)  
成果報告会

## 2015年度支援先団体からの声

### アクティブ・コネクター株式会社

松本 麻美 代表取締役



私たちは、「全てのボーダーを超えたチームではたらくに」というビジョンのもと、外国人留学生と日本企業の仕事のマッチングを主な事業としています。この事業を既に外国人の採用ニーズがある企業だけでなく、広く日本企業全体を巻き込むムーブメントにしたいと考え、プロボノメンバーの皆様と共にプログラムの検証を行いました。結果、一つのイベントのモデルを創ることができ、また今後もプログラムを共催していくこととなりました。

### 特定非営利活動法人ふれ愛名古屋

鈴木 由夫 理事長



私たちは、重症心身障がい児・者の母親と支援者で立ち上げ、どんなに重い障がいでも地域で暮らせるデイサービスを運営しています。この重症児デイサービスが今、全国に広がっている中で、保護者支援の必要性を伝える「白書」を作って、社会へアピールしたいと応募しました。本プログラムではアンケート、分析、構成など多くの場面で、期待以上の伴走支援をいただきました。白書発行で、最重度障がいの子と家族が抱える問題解決を目指します。

### 合同会社巻組

渡邊 享子 代表社員



私たちは、地方都市の地域社会にインパクトを与える人材の移住促進・人材育成を目指して活動しています。受け皿となるシェアハウスやインキュベーションオフィスの企画・運営を行うことを通して、地域から課題解決型人材を輩出していきます。今回のプロボノ支援では、設立間もない弊社の組織基盤の強化に尽力いただきました。皆様と対話を重ねる中で組織の進むべき方向性が定まり、組織基盤を支える基礎的な人的体制が整いました。

## プロボノメンバーの声

支援団体：株式会社AsMama（2014年度）



春日 丈実

コンサルティング・国際事業本部  
総合コンサルティング部  
チーフコンサルタント

### 協働先の営業活動等をサポート。社会課題のリアリティも体感

私が2014年度に協働した株式会社AsMama（アスママ）は、「子育てをシェアする」をコンセプトに、顔見知り同士が子どもの送迎や託児を支援し合うWeb上のサービス開発等を行い、共助プラットフォームとしての普及を目指して活動しています。

自分の子どもはもう大きいですが、ニュース等から特に都心部での子育ての難しさを深刻に感じており、民間の柔軟な仕組みで若いパパ・ママをサポートすることが大切だと思いました。また同社のプレゼンテーションからベンチャーらしいビジネスマインドを感じ、自分のスキルや経験が何か役に立つのではと思いました。

半年間のプロボノ活動では、行政向け・民間向けの営業提案やプレゼンテーション資料の作成のサポートを行うとともに、急成長を続ける同社に対して個人情報の取り扱いについてアドバイスする等、組織内部での管理体制についてもサポートしました。プロボノチームのメンバーで月に1～2回程度、準備や進め方について議論した上で、AsMamaの皆さんと月1回ミーティングをしました。活動を通じて子育て世代のリアルな現状や悩みを肌で感じることができ、大きな収穫になりました。なぜAsMamaのような団体が必要とされているのかも良く分かりましたし、社内ネットワークも広がり、仕事にも生きる学びを得られました。

当プログラムの詳細はこちら！ ▶  MURC 社会貢献

過去の支援先やプロボノメンバーの声も掲載中！

[http://www.murc.jp/corporate/sustainability/social\\_business](http://www.murc.jp/corporate/sustainability/social_business)



三菱UFJリサーチ&コンサルティング

問い合わせ先

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社  
ソーシャルビジネス支援プログラム運営事務局  
〒105-8501 東京都港区虎ノ門5-11-2  
TEL: 03-6733-1005 Email: sb-murc@murc.jp